

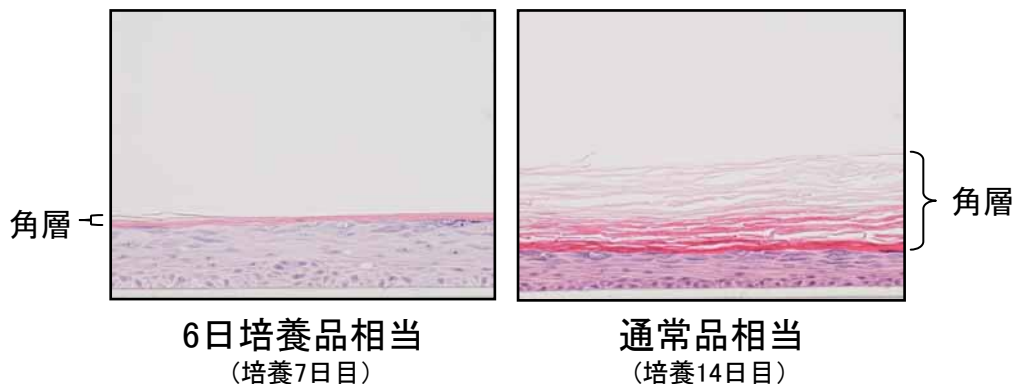
6日培養品で弱刺激性の 検出が可能です！

LabCyte EPI-MODEL (6日培養品)を用いた 新しいアプリケーション

今回、敏感肌が感受する皮膚刺激性(弱刺激性)を*in vitro*試験で
検出する方法を提案いたします。
(本研究は、日本コルマー様よりデータ提供いただきました)

表皮細胞を用いて皮膚と同等の構造をもつ3次元モデルLabCyte EPI-MODELには
「通常品」に加えて、角層がほとんど未形成の「6日培養品」があります。
角層がほとんどないため「6日培養品」は「通常品」よりも刺激の感受性が高い特徴を
もっています。

組織切片像

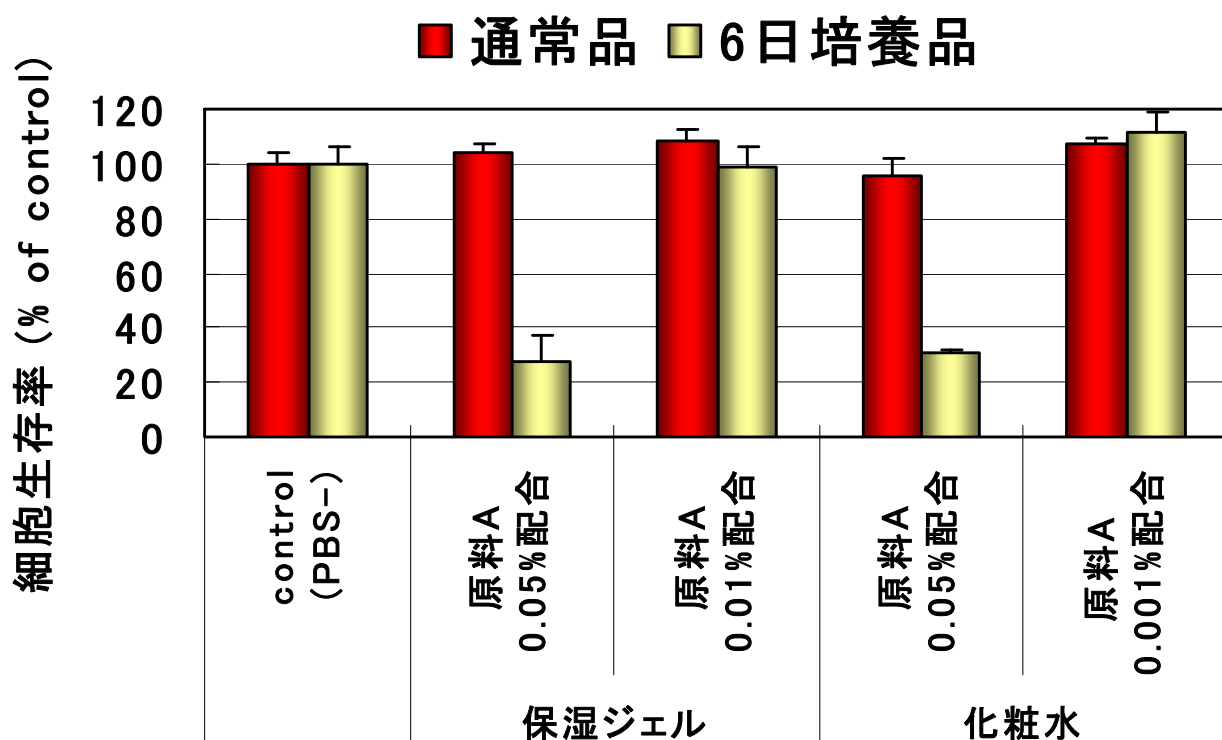


方法

原料A*の配合量を変えた保湿ジェルと化粧水を用いて、LabCyte EPI-MODEL24の「通常品」と「6日培養品」に50 μ l添加し、20時間インキュベートしました。20時間後、PBS(-)にて洗浄し、MTTにて生細胞数の測定を行いました。

*原料A

通常のヒトパッチテストで陰性となった処方、実使用モニターでは一部に弱い刺激性が確認されました。各種原料の配合の有無から刺激性のある原料として原料Aが特定されました。



結果

1. 通常品を用いた試験では、全てのサンプルで細胞生存率の低下は観察されず、刺激性は検出されませんでした。
2. 6日培養品を用いた試験では、原料Aを0.05%配合した保湿ジェル、化粧水ともに細胞生存率の著しい低下が観察され、刺激性を検出しました。
3. 原料Aの配合を0.01%以下に減らすことで刺激性が認められなくなったことから、原料Aの皮膚刺激性への関与が示唆されました。

詳細なレポートを日本コルマー様より頂いております。
レポートをご希望の方は弊社営業部までご連絡ください。

■お問い合わせ先

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
営業部
TEL: 0533-66-2129 FAX: 0533-66-2018
Email: jtec-info@jpte.co.jp